

じゃらんリサーチセンター×ブログウォッチャー共同研究より

「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」 ～福岡県活用事例～

2024年4月9日

じゃらんリサーチセンター 研究員 松本百加里




- **診断チャートを使った勉強会の内容と結果**.....P3-4
- **研究データと診断チャートを活用して検討した
台湾・アメリカの診断結果とルート例**.....P5-10

診断チャートを使った勉強会の内容

「地図で読み解くインバウンド地方分散研究」の考えをベースに、福岡県観光連盟の職員が参加の勉強会を実施。インバウンドマーケティング戦略検討からエリアルートの考え方、プロモーションまで一気通貫で行うための考え方をレクチャー。2日目の応用編にて、「ルート課題を見つけ出す診断チャート」を活用したワークと発表も行った。

**インバウンドマーケティング勉強会
～応用編～**

2024年2月16日
じゃらんリサーチセンター 研究員 松本百加里


リサーチセンター




ルート課題を見つけ出す診断チャート (※市場別でチェックしよう)

全国主要周遊ルートに入っているか?	
Yes	No
全国主要周遊ルートから日帰り圏内か?	
Yes	No
地方ブロック主要周遊ルートに入っているか?	
Yes	No

ルート課題

<p>診断A</p> <p>一部のエリアに集中している (例: オーバーツーリズム)</p> <p>集中エリアの分散手法として、時期や季節を加味しながら、人気スポットと他スポットを繋ぐ分散ルートを訴求する</p>	<p>診断B</p> <p>全国主要周遊ルートから近いが滞在されていない (例: 空港やJRバスの駅があるが通過されていたり、近いが滞在されていない)</p> <p>目的地と繋ぎやすい主要周遊ルートから立ち寄りの旅程タイミングを決めて、立ち寄りスポットを盛り上げてルート化して訴求する (デイトリップツアーの造成などで認知を上げながら、ゆくゆくは宿泊への発展も目指す)</p>	<p>診断C</p> <p>全国主要周遊ルートから大きく離れている (例: ゴールデンルートから離れているが、直行便がある地方空港からは近め)</p> <p>目的地が含まれる地域ブロック主要ルートの認知強化 (リピーターのターゲットや地方空港とも連携して増便もできるとなおよしい)。または、全国主要周遊ルートの目的地の人気スポットを繋いだ新ルートを訴求する</p>	<p>診断D</p> <p>全国主要周遊ルートも地域ブロック主要周遊ルートも離れている (例: どの空港からも離れている秘境的なエリア)</p> <p>全国主要周遊ルートも地域ブロック主要周遊ルートも含まれていないため、目的地になりえるポテンシャルスポットの磨き上げを強化。広域推奨ルートに繋いで、アクセス手法+魅力的な過ごし方+宿泊施設までセットで訴求する</p>
---	---	---	--

(C) Recruit Co., Ltd. All rights reserved. 40 変わる地域の、力になります。 

<ルートのワーク> 対象市場【 】 お名前【 】


診断結果 (複数ある場合すべて記載ください、迷った点があれば記載ください)

診断結果を参考にししてルート課題を記載ください (データ以外から普段感じている課題も含めてOK)

注力したいルートイメージを記載ください (前後の駅/スポット、福岡県の駅/スポットへ誘客する理由付け)

ルート詳細

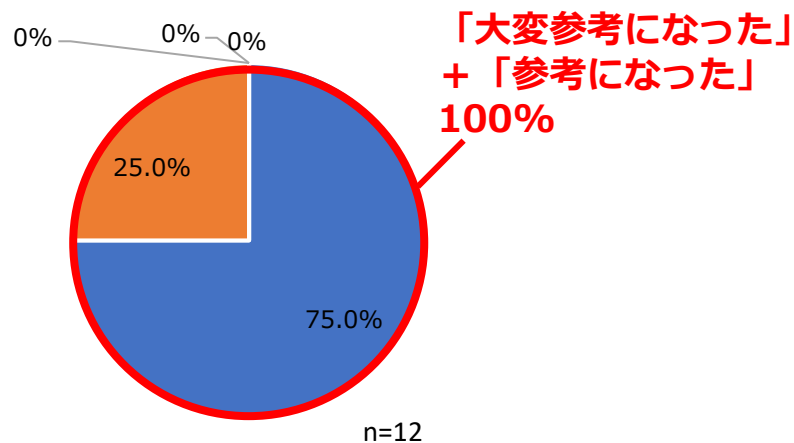
福岡県のスポットへ訪問させる理由

(C) Recruit Co., Ltd. All rights reserved. 41 変わる地域の、力になります。 

勉強会の結果

勉強会参加者の方にアンケートを実施し、「大変参考になった」「参考になった」が100%と高い満足度となった。勉強会の感想では、データを活用してルート検討の参考になるコメントが多数みられた。

勉強会満足度（応用編）



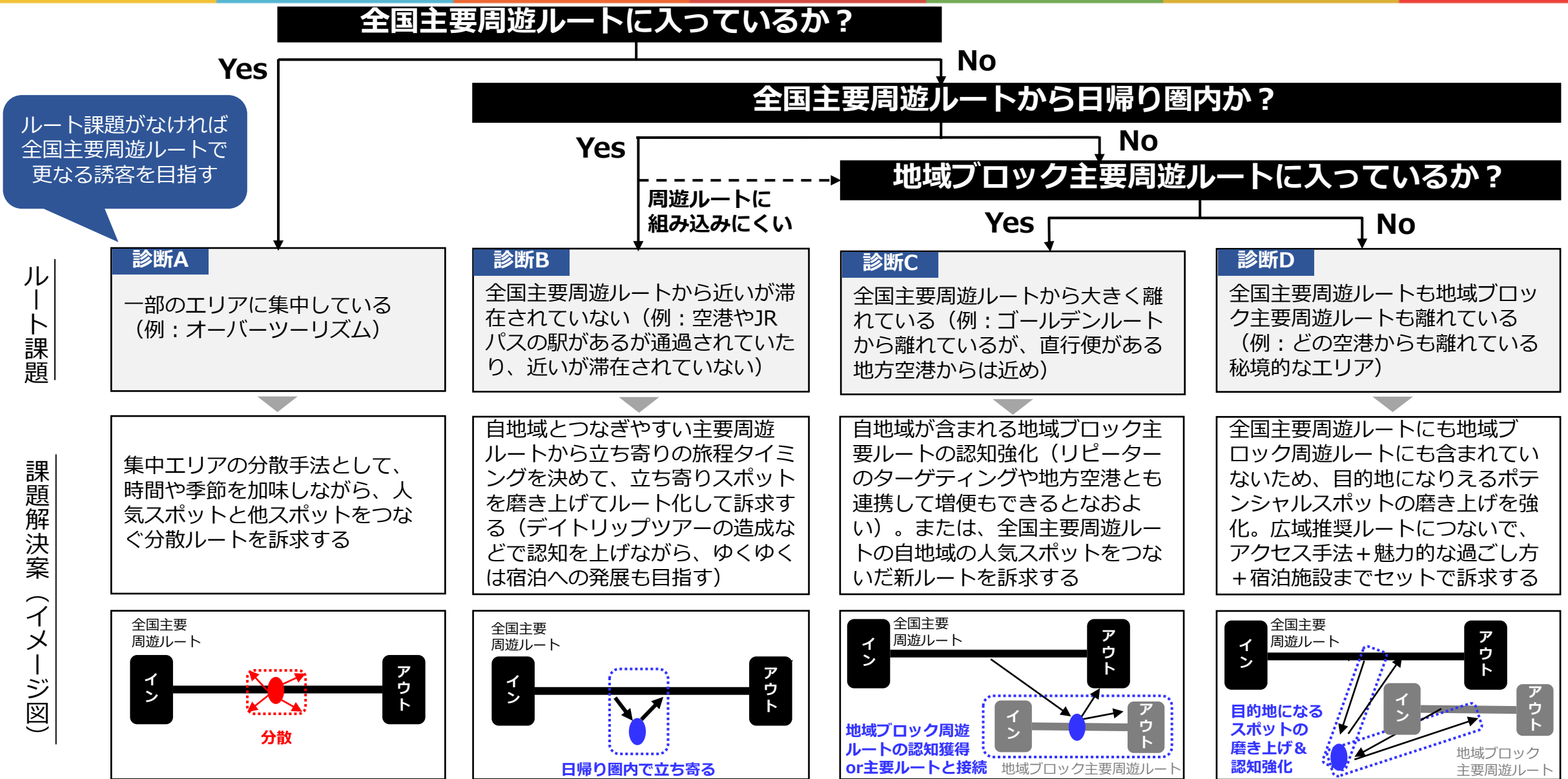
- 大変参考になった
- 参考になった
- 普通
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

勉強会の感想（フリーコメント例）

- インバウンド関係のデータ、分析を基にワークをして、共通の認識（データ）で考えて検討することで考えを深めることができた。
- 直前・直後の滞在エリアの特徴や、ターゲットとする層の特性などを把握することが非常に重要だと思いました。
- 統計から見るターゲットの要望に刺さる情報発信、モデルルートの提案、実証の必要性、販売手法の選定など参考になりました。
- 今回のようなデータを収集してワークを組み合わせることで、その国のターゲットや福岡県内の誘客戦略など、思考がまとまると思いました。
- ターゲット国に対して、具体的に考えることができ良かったです。まずは想像ベースでも自分なりの仮説を立てて、検証を図る意味でいただいた資料を活用させていただきたいと思います。

研究データと診断チャートを活用して検討した 台湾・アメリカの診断結果とルート例

ルート課題を見つけ出す診断チャート（※市場別でチェック実施）



検討例：福岡県×台湾：診断チャートより「診断A」

全国主要周遊ルートに入っているか？

Yes

診断A

一部のエリアに集中している
(例：オーバーツーリズム)

集中エリアの分散手法として、
時間や季節を加味しながら、人
気スポットと他スポットをつな
ぐ分散ルートを訴求する

全国主要
周遊ルート



全国トップ20

周遊都道府県	順位	出現率
千葉県－東京都－神奈川県	1	4.50%
千葉県－山梨県－東京都	2	3.48%
京都府－兵庫県－大阪府	3	3.43%
大分県－熊本県－福岡県	4	1.99%
千葉県－埼玉県－東京都	5	1.68%
京都府－大阪府－奈良県	6	1.41%
山梨県－東京都－神奈川県	7	1.34%
京都府－大阪府－東京都	8	1.33%
千葉県－東京都－長野県	9	1.15%
千葉県－大阪府－東京都	10	1.13%
埼玉県－東京都－神奈川県	11	0.99%
千葉県－東京都－静岡県	12	0.85%
京都府－大阪府－滋賀県	13	0.81%
東京都－神奈川県－静岡県	14	0.76%
千葉県－山梨県－東京都－神奈川県	15	0.72%
大分県－熊本県－福岡県－長崎県	16	0.61%
岐阜県－愛知県－石川県	17	0.61%
熊本県－福岡県－長崎県	18	0.55%
千葉県－東京都－群馬県	19	0.52%
北海道－千葉県－東京都	20	0.52%

診断A

全国主要周遊ルートで
4位と16位を獲得

ルート課題

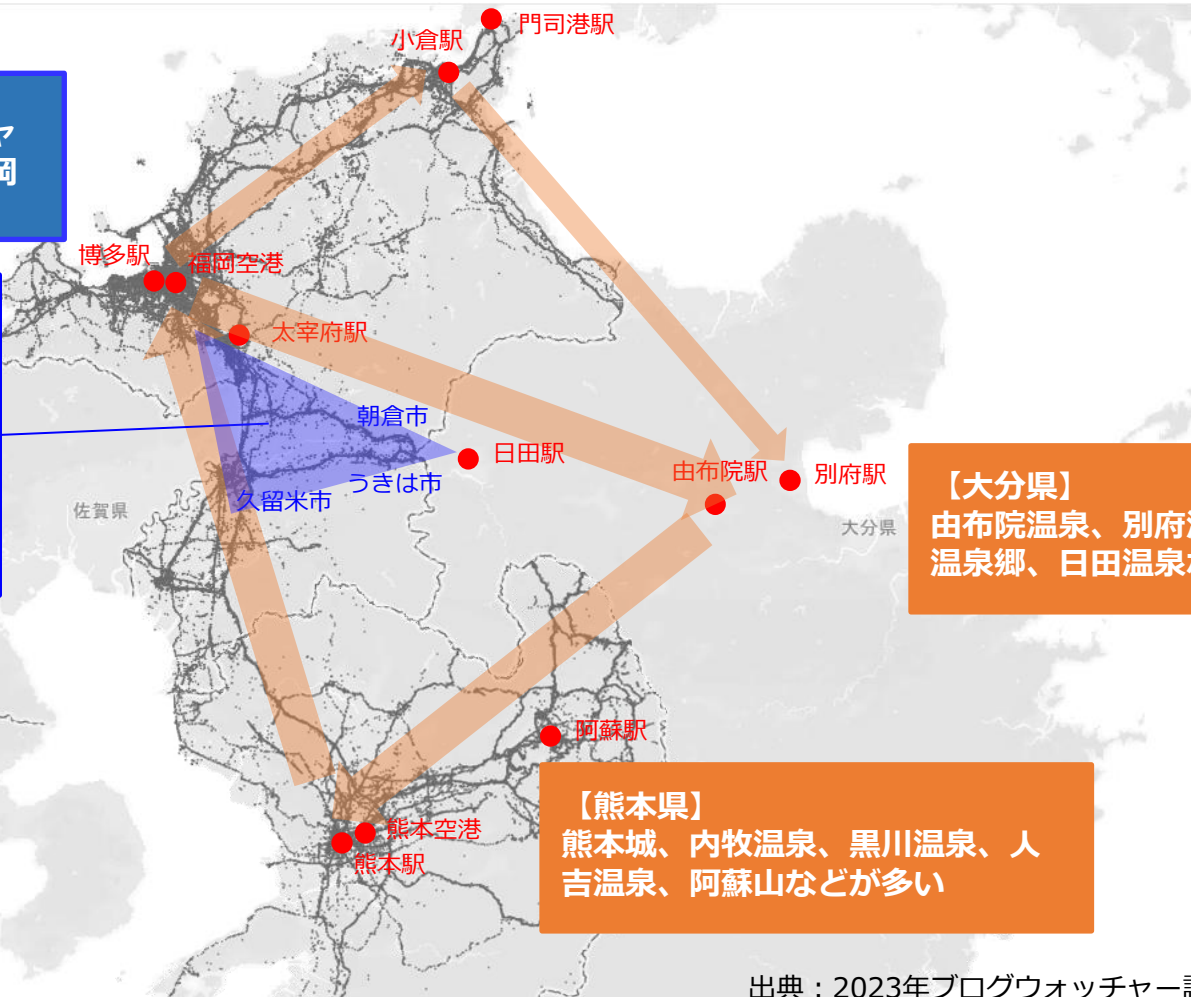
課題解決案 (イメージ図)

台湾の人流ヒートマップから考える可能性「大分県-熊本県-福岡県」

台湾では「大分県-熊本県-福岡県」が全国主要周遊ルートになっているため、このルートの詳細を人流ヒートマップで確認しながら、博多に集中しやすい状況を県全体で分散させるために、博多駅から由布院駅へ行く途中の久留米市・うきは市。朝倉市に立ち寄ってもらうルート案を検討した。

【福岡県】
博多駅から近い新天町商店街、中洲エリア、キャナルシティ博多、太宰府天満宮、ららぽーと福岡などが多い

【可能性】
博多駅から由布院駅に行く途中に、久留米駅の利用が多く、周辺の久留米市・うきは市・朝倉市のスポット（浮羽稲荷神社、玉垂公園、フルーツ狩り、原鶴温泉、流川の桜並木）への訪問が多く、立ち寄りエリアとしての可能性がみえてくる



【大分県】
由布院温泉、別府温泉、九重“夢”温泉郷、日田温泉などが多い

【熊本県】
熊本城、内牧温泉、黒川温泉、人吉温泉、阿蘇山などが多い

出典：2023年プログウォッチャー調査「デジタル観光統計（訪日版）」

検討例：福岡県×アメリカ：診断チャートより「診断B」 or 「診断C」

全国主要周遊ルートに入っているか？

全国トップ20

周遊都道府県	順位	出現率
京都府-大阪府-東京都	1	5.80%
千葉県-東京都-神奈川県	2	2.73%
埼玉県-東京都-神奈川県	3	2.58%
千葉県-埼玉県-東京都	4	1.98%
京都府-東京都-神奈川県	5	1.86%
京都府-大阪府-東京都-神奈川県	6	1.35%
大阪府-東京都-神奈川県	7	1.34%
京都府-千葉県-大阪府-東京都	8	1.27%
京都府-千葉県-東京都	9	1.25%
千葉県-大阪府-東京都	10	1.15%
京都府-広島県-東京都	11	0.81%
京都府-大阪府-広島県-東京都	12	0.63%
京都府-兵庫県-大阪府	13	0.55%
兵庫県-大阪府-東京都	14	0.55%
大阪府-広島県-東京都	15	0.55%
東京都-神奈川県-静岡県	16	0.52%
埼玉県-大阪府-東京都	17	0.51%
千葉県-東京都-茨城県	18	0.50%
愛知県-東京都-神奈川県	19	0.47%
梨県-東京都	20	0.47%

診断B

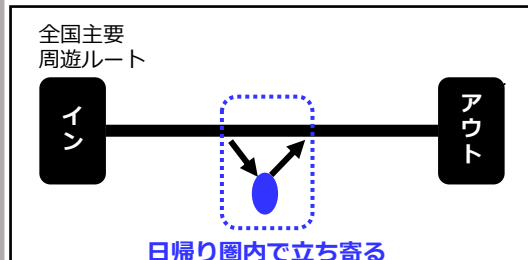
全国主要周遊ルート
ランクインなし
広島県から足を延ばす？

No
全国主要周遊ルートから日帰り圏内か？

Yes
No
地域ブロック主要周遊ルートに入っているか？

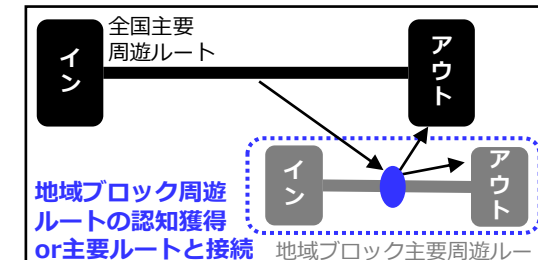
診断B
全国主要周遊ルートから近いが滞在されていない（例：空港やJRパスの駅があるが通過されていたり、近いが滞在されていない）

自地域とつなぎやすい主要周遊ルートから立ち寄りの旅程タイミングを決めて、立ち寄りスポットを磨き上げてルート化して訴求する（デイトリップツアーの造成などで認知を上げながら、ゆくゆくは宿泊への発展も目指す）



診断C
全国主要周遊ルートから大きく離れている（例：ゴールデンルートから離れているが、直行便がある地方空港からは近め）

自地域が含まれる地域ブロック主要ルートの認知強化（リピーターのターゲティングや地方空港とも連携して増便もできるとなおよしい）。または、全国主要周遊ルートの自地域の人気スポットをつないだ新ルートを訴求する



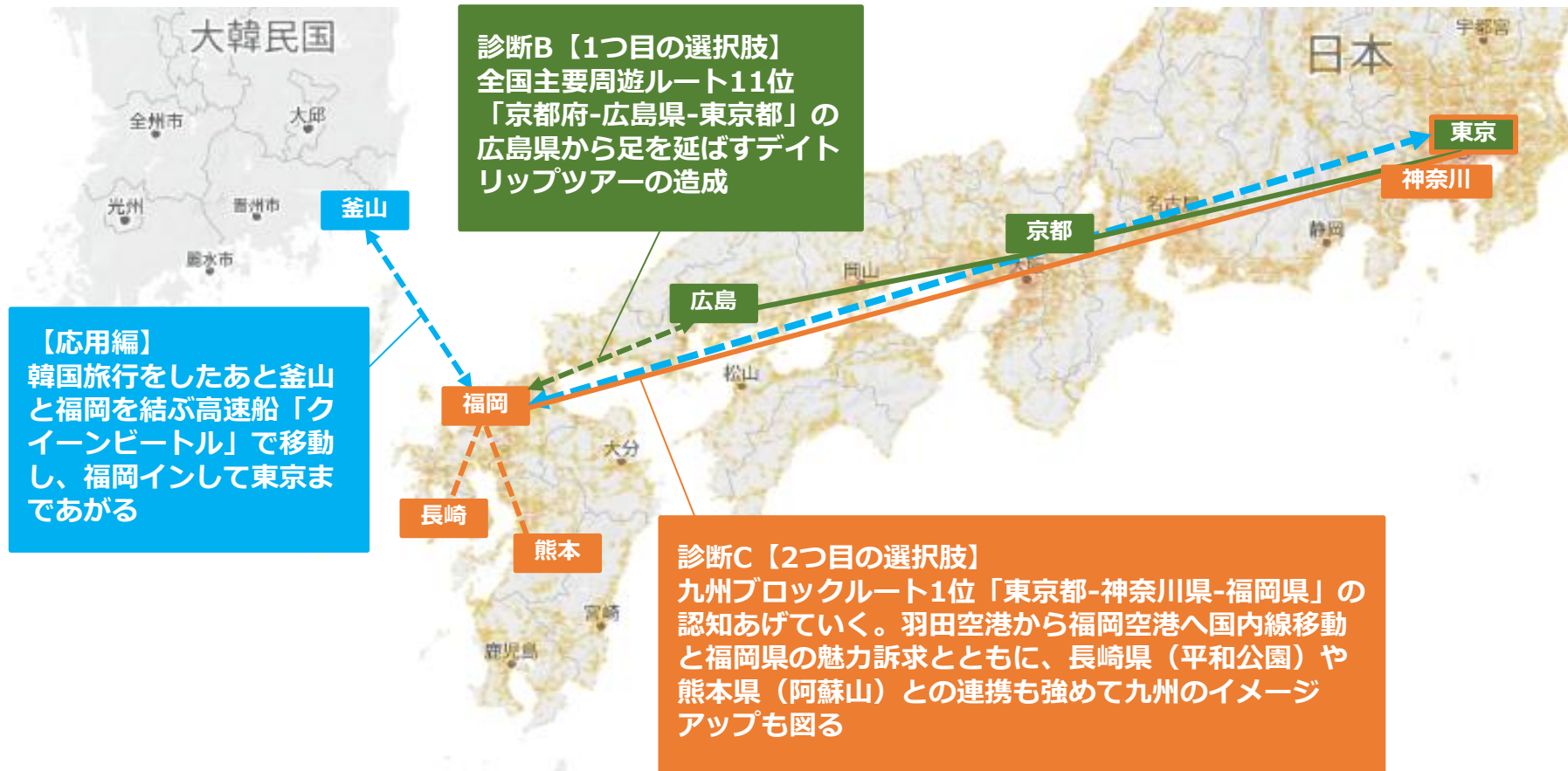
地域ブロックトップ3

九州	順位
東京都-神奈川県-福岡県	42
大阪府-東京都-福岡県	47
京都府-大阪府-東京都-福岡県	56

診断C
九州主要周遊ルート
トップにランクイン
このルートの訴求強化？

アメリカの人流ヒートマップから考える可能性

アメリカでは選択肢が3つ出た。診断Bの1つ目は、全国主要周遊ルート11位「京都府-広島県-東京都」の広島県から博多へ足を延ばすことを狙うルート。診断Cの2つ目は、九州ブロックルート1位「東京都-神奈川県-福岡県」の認知を上げて福岡県の魅力強化を図るルート。応用編として3つ目は、韓国の釜山と福岡を結ぶ高速船で福岡インorアウトさせるルート。それぞれの可能性を検討した。



出典：2023年プログウォッチャー調査「デジタル観光統計（訪日版）」